

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平6-57398

(43) 公開日 平成6年(1994)8月9日

(51) Int. Cl. ⁵

識別記号

F I

A63H 33/22

K 8603-2C

3/00

V 8603-2C

9/00

R 8603-2C

13/10

8705-2C

33/18

C 8603-2C

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全2頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

実願平5-1447

(22) 出願日

平成5年(1993)1月25日

(71) 出願人 000000930

株式会社学習研究社

東京都大田区上池台4丁目40番5号

(72) 考案者 唐 華徳

東京都大田区上池台4丁目40番5号 株式

会社学習研究社内

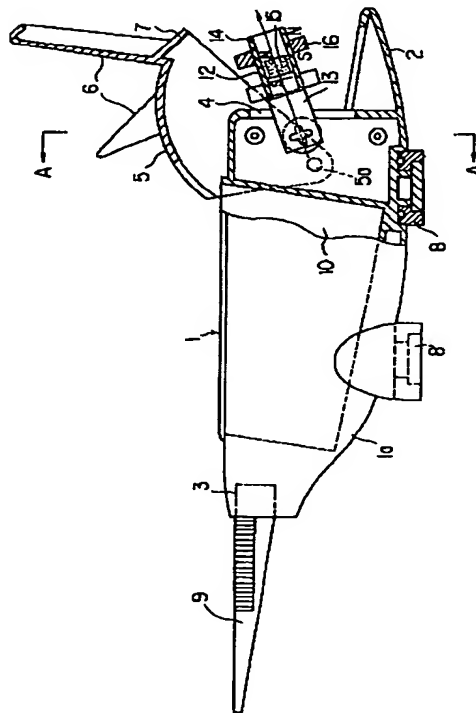
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54) 【考案の名称】 変色玩具

(57) 【要約】

【目的】 太陽光（紫外線）に当てると色が変わり、太陽光（紫外線）の当たらない場所に放置すると元の色に戻る興趣性の高い変色玩具を提供することにある。

【構成】 本考案の変色玩具は、玩具本体1を紫外線に当てて変色し、紫外線の当たらない場所に放置すると元の色に戻るフォトクロミック混入の着色合成樹脂で成形したことを特徴とする。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 玩具本体を紫外線に当って変色し、紫外線の当たらない場所に放置すると元の色に戻るフォトクロミック混入の着色合成樹脂で成形したことを特徴とする変色玩具。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例による変色玩具を示した要部

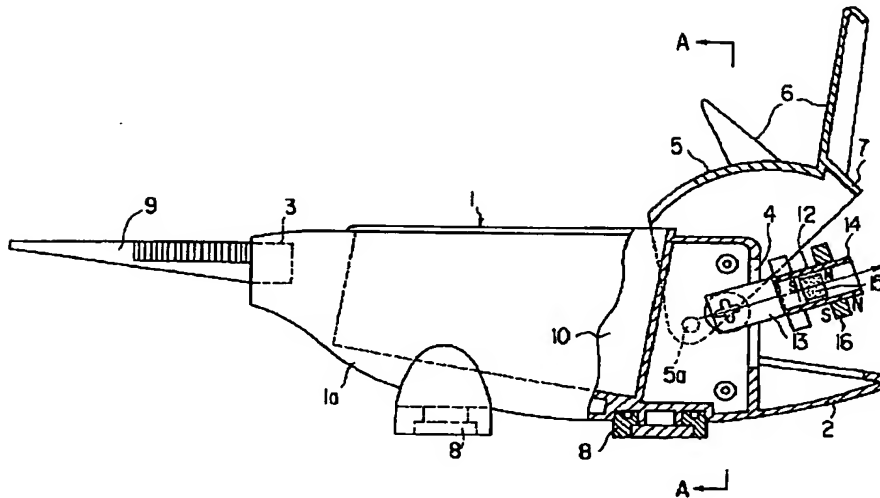
切欠側面図。

【図2】 図1のA-A線に沿う矢視断面図。

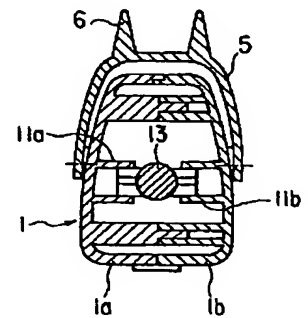
【符号の説明】

1…玩具本体、2…下顎部、5…頭体、8…足体、9…尾体、12…発射筒、15…弾丸磁石、16…リング磁石。

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁵

A 6 3 H 33/26

H 0 1 F 7/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 8603-2C

U

【考案の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【産業上の利用分野】

本考案は太陽光（紫外線）に当てると色が変わる変色玩具に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、前記のような変色玩具は存在しない。

【 0 0 0 3 】

【考案が解決しようとする課題】

本考案の目的は太陽光（紫外線）に当てると色が変わり、太陽光（紫外線）の当たらない場所に放置すると元の色に戻る興趣性の高い変色玩具を提供することにある。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

前記の目的を達成するために、本考案の変色玩具は、玩具本体を紫外線に当たって変色し、紫外線の当たらない場所に放置すると元の色に戻るフォトクロミック混入の着色合成樹脂で成形したことを特徴とする。

【 0 0 0 5 】

【作用】

前記構成の変色玩具は、玩具本体が前記のような紫外線反応樹脂で形成されているので、この変色玩具を太陽光の当る場所に置けば、例えば緑色の玩具本体が焦げ茶色に変色する。

【 0 0 0 6 】

この場合、玩具本体の外面部に細長い遮光シールを一定間隔で貼着し、この遮光シールを紫外線反応後に剥がすようにすれば、玩具本体の外面部に美しい縞模様を出現させることができ、また白抜き模様のあるフィルム状の遮光シールを玩具本体の外面部に貼着し、紫外線反応後に剥がすようにすれば、玩具本体の外面部に白抜き模様に対応した絵等を出現させることができる。

【 0 0 0 7 】

【実施例】

以下、本考案の一実施例を図面に従い具体的に説明する。

【0008】

この実施例は本考案をカメレオン玩具に適用したものであって、この玩具本体1は胴部前端に下顎部2を突設し胴部後端に尾取付穴3を凹設したカメレオンの体部形状をなし、左右一対の体部半割体1a、1bを図2の如く嵌合して構成されるが、この玩具本体1を構成する体部半割体1a、1bは太陽光（紫外線）に当って焦げ茶色に変色し、太陽光（紫外線）の当たらない場所に放置すると元の緑色に戻るフォトクロミック混入の着色合成樹脂（例えば緑色のポリプロピレン）で成形されている。なお、本実施例に適用されるフォトクロミックは無色透明な粉粒体で、紫外線に反応して赤茶色に変色するものであるが、視覚的には本体成形樹脂の着色（緑色）と混色して焦げ茶色に見えるようになる。

【0009】

5はカメレオンの頭部形状をなす開閉可能な頭体で、この頭体5は複数本の角部6と前記下顎部2に閉合される上顎部7を有し、前記本体1の胴部前端に下顎部2上に口閉じできるようにピン5aで枢支される。

【0010】

8は前記本体1の胴部下に嵌合固定される前後一対の足体、9は前記本体1の尾取付穴3に嵌合止着される合成樹脂製の尾体、10は前記本体1の体部半割体1a、1bの間に形成された上面が開放する付帯品収納部で、遮光シート等の付帯品（図示せず）を収納保管できるようにしている。

【0011】

12は前記本体1の胴部前端から頭体5の閉合部内側に突出する俯仰角調整可能な発射筒で、体部半割体1a、1bの内側突出口11a、11bに上下回動可能に枢支され胴部前端の縦長孔4から前方へ突出する筒取付体13と、この筒取付体13の先端小径部の外側に嵌着されて前方へ突出する直径10mm、長さ20mm程度の筒体14とから構成されている。

【0012】

15は前記発射筒12の筒体14内に、その前端開口部から筒取付体13の先

端小径部の端面に当接するように装填される前後にN S磁極を有した弾丸磁石、16は前記発射筒12の外周部に移動自在に嵌挿されるリング磁石で、このリング磁石16を図1実線で示す位置から想像線で示す位置(弾丸磁石15の装填ストップ位置を越えた位置)に移動させた時の磁力反発作用で弾丸磁石15を前方へ発射させることができるように構成されている。

【0013】

【考案の効果】

この考案の変色玩具は、その玩具本体1を紫外線に当って変色し、紫外線の当たらない場所に放置すると元の色に戻るフォトクロミック混入の着色合成樹脂で成形したものであるから、この変色玩具を紫外線の当たる場所に置けば、例えば緑色の玩具本体が焦げ茶色に変色し、紫外線の当たらない場所に放置すれば元の色に戻るという面白さがあり、カメレオン玩具等に適用して興趣性を高めることができる。

【0014】

また、玩具本体1の外面部に細長い遮光シールを一定間隔で貼着し、この遮光シールを紫外線反応後に剥がすようにすれば、玩具本体1の外面部に美しい縞模様を出現させることができ、白抜き模様のあるフィルム状の遮光シールを玩具本体1の外面部に貼着し、紫外線反応後に剥がすようにすれば、玩具本体1の外面部に白抜き模様に対応した絵等を出現させることができるという効果も奏する。